

受信方法別の世帯普及率とデジタル化対応状況に関する利用者の認知状況

資料2

-地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査結果(2009年3月、総務省)より-

受信方法※1	世帯数		対応受信機の世帯普及率							共同受信設備のデジタル化対応状況に関する利用者の認知状況※2			
	調査サンプル数 (割合 (%))	推定世帯数 (万世帯) [注]	右記のい ずれかを 保有(%)	推定世帯 数(万世 帯) [注]	内訳(%)					調査サン プル数	認知状況(%)		
					デジタル テレビ	チュー ナー内蔵 録画機	外付け チュー ナー	パソコン	CATV用 STB		対応して いる	対応して いない	分からな い
①戸建・個別受信	5403 (49.8)	2490	67.4	1678	60.4	36.1	9.8	8.4	6.2	-	-	-	-
②集合住宅共聴	1780 (16.4)	820	60.4	496	51.9	31.3	5.2	8.1	7.5	1685	66.2	8.4	23.2
③受信障害対策共聴施設	395 (3.6)	182	47.0	86	40.0	21.4	4.7	7.6	3.6	441	29.0	29.0	33.4
④辺地共聴施設	348 (3.2)	160	54.6	88	48.6	24.3	4.5	8.7	5.8	-	-	-	-
⑤ケーブルテレビ	2922 (26.9)	1347	78.2	1053	57.1	36.7	8.2	9.7	51.9	-	-	-	-
合計	10848	5000	60.7	-	50.4	30.5	6.8	7.8	15.1	-	-	-	-

[注] 日本の全世帯数を5千万世帯とした場合の推定値を表す。

その他の数値は全て、地上デジタルテレビ放送に関する浸透度調査(2009年3月、総務省)結果に基づくもの。そのため、ある程度の誤差は想定される。

※1 受信方法とは、地上アナログ放送又は地上デジタル放送の受信方法を示し、両方を視聴可能な場合は地上デジタル放送の視聴方法で分類した。

また、受信方法について無回答の回答者を除いて推定世帯数等の算出を行った。

※2 ②集合住宅共聴のデジタル化対応状況に関する認知状況については、「地上アナログ放送を集合住宅共聴施設で視聴している」世帯に対する調査結果

また、③受信障害対策共聴施設のデジタル化対応状況に関する認知状況については、「地上アナログ放送を受信障害対策共聴施設で視聴している」世帯に対する調査結果